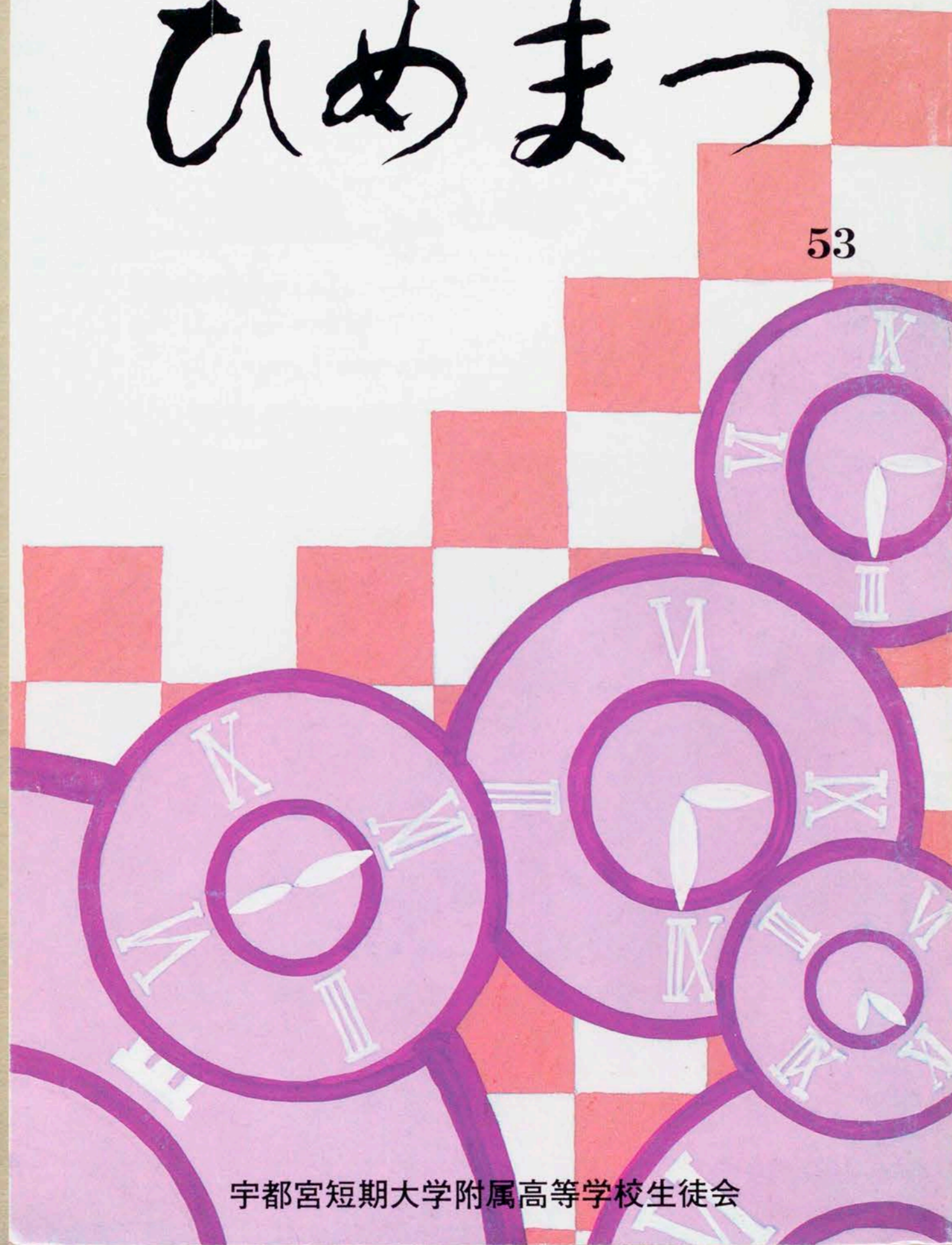


# ひめまつ

53



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次 (第五十三号)

表紙……………高柳 恵 題字……………石川木魚 写真……………写真部・編集部

随想

社会人入学と外国人留学生

—— 那須大学の新しい試み ——

……………校長 須賀

淳……………1

那須大学特集

いよいよ四月に開学……………5

国際的な視野を広げて

(生徒会会長に就任して)

……………丹羽 悦子……………8

協力することの素晴らしさ

(任期を終えて思うこと)

……………椎名 陽介……………9

〈声〉

那須のイメージ……………10

那須から始まる新しい日本 三年 佐々木 佳子  
豊かな自然の宝庫 三年 中野 良子  
自然を残しつつ移転を 三年 町井 有希子  
日本の新しい顔 三年 西沢 容子  
未来への希望の土地 二年 君島 あゆみ

緑多く生き生きとした生活 二年 出口 綾  
那須は未来を拓く 一年 室井 綾子  
飛躍発展の地 一年 田村 幸史  
それは緑です 一年 高橋 祐美  
二十一世紀に誇れる那須の首都機能移転 一年 木村 円

\*心に強く響くもの (校内読書感想文入賞作品)……………17

「光りあるうちに」 三年 高橋 かおる  
「女の一生」 三年 人見 寛子  
「逆説の日本史」 三年 吉新 拓世  
「山椒魚」 二年 久米 千広  
「みんなの木かげ」 二年 佐藤 めぐみ

「日本の高校生たち」 二年 川村 尚子  
「蔵」 一年 木村 円  
「二十歳の原点」 一年 石丸 喜規  
「恍惚の人」 一年 田村 徹郎

詩・短歌・俳句……………30

詩

〔三年〕飯島しのぶ・今井 千尋 〔二年〕川又のぞみ・八百井菜穂 〔二年〕常盤 耕平・伊藤多美子

短歌

〔二年〕齋藤ちはる・黒崎 美春・荒井 ふみ

俳句

〔三年〕渡辺かおり・谷島 佑梨・星野 歩・安久井佐知子・赤岩 望美 他  
〔二年〕小太刀一也・林 千春 他

あとらんだむ……………38

自由作品 〔二年〕職業とは何か 堀江 美紀子 〔二年〕合宿で思うこと 山口 多佳  
電車の中で 山内 良恵 意外な面見る球技大会 佐藤 めぐみ  
高校生として考える 〔旧二年〕吉新 拓世 築島 万実 山本 梢  
〔旧一年〕桜井 香織 藤田 径

〈この一年を顧みて〉

〔旧一年〕桜井 香織 藤田 径

関西・四国・日光・那須の旅

〔三年〕 平和ミュージアムを訪れて

一滴水を与えられた思い

思い出の旅路

反省もあるが楽しみも

思い出深い高野山

心に残る思い出

大笹牧場に遊ぶ

〔二年〕 雨のりんどう湖

野原 佑哉  
古谷野 多恵  
油井 美沙希  
青柳 玲子  
新井 陸晃  
松山 伸子  
長岡 千陽  
菅沼 麻里子

招待席

アユは長い友達

黄色いワイン

諸君、悔い無き人生を！

教諭 金田 敏彰  
講師 廣木 彰三  
教諭 和久 誠

ニハオ！  
嵯峨野路

教諭 三上 秀平  
教諭 古郡 健二

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

委員会・クラブ報告

編集・美化・風紀・図書・華道・写真・奉仕・ワープロ・新体操・女子バレーボール・剣道  
弓道・水泳・保健・茶道・書道・卓球

★学園告知版

大島教頭先生に文部大臣表彰・各種コンテスト入賞のお知らせ・阿部正昭PTA会長を選出  
生徒会が敬老の贈り物・入試説明会開く・教生母校に帰る 他

附属中コーナー

- ・この一年間のおもな活躍
- ・奥山さんが法務大臣賞
- ・少年の主張で西川さん優秀賞
- ・読書感想文入賞作品
- ・自由作文入賞作品
- ・生徒会にお礼状
- ・グラフ写真

〔三年〕 奥山 紗由  
〔三年〕 西川 由理  
〔三年〕 吉新 晃紀  
〔三年〕 板橋 有加

〔二年〕 印南瑠生公  
〔二年〕 由木 清花

〔二年〕 高橋 美貴  
〔二年〕 小田友理

◎平成十年度生徒会報告

- ☑就職状況 176
  - ☑職員住所録 182
  - ☑編集後記 185
- 編集委員長 堀田 葉月

# 学園の四季



▲フランス・ボークリュース県から研修団 お世話になった先生2人(中央)が来校(10月22日)



▲卒業式に日本テレビのカメラが入る(98年3月3日)



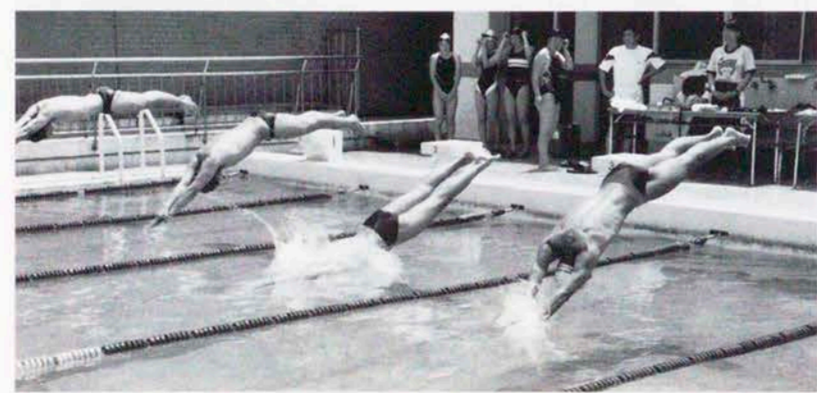
▲フィリピンのインターアクトクラブが見学を訪れる(4月20日)



▲級友が2人がかりで一着装講座(11月18日)



▶治にいて乱を忘れず  
防火避難訓練(11月17日)



◀記録に挑戦する校内水泳大会(7月8日)



▲ナイススマッシュー校内球技大会(7月7日)

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

## 校歌

作詞 菅谷 徳次郎  
作曲 野原 幸夫

Musical notation for the school song, including lyrics in Japanese.

ふに たら の た ー け ね を は り か に あ お ー ぎ  
 ま な び の み ち す じ は ま さ き く あ れ と  
 か た み に ち ー か い て い そ し み は げ む  
 お ま し な の に ー わ こ そ げ に と め う と け れ  
 あ わ れ と め う と た こ ー の ま な び や

## 校歌

一 二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ  
 学びの道筋 まさきくあれと  
 かたみに誓いて いそしみ励む  
 教えの庭こそ げに尊けれ  
 あわれ尊 この学びや

二 庭面に茂れる 姫松小松  
 変わらぬ操は 千代万代と  
 かたみに祝いて いそしみ励む  
 学びの庭こそ げに芽出度けれ  
 あわれ芽出度 この学びや

# オープンキャンパス (那須大学)

# WELCOME EVERYBODY

# 体験学習 (高校)



▶ 受験予定者や地元の人たちで大にぎわい  
2回にわたって行われたオープンキャンパスは満員  
(12月13日)▼



▼ 郷土料理の「巻狩鍋」に舌つつみ  
(12月13日)



▶ 校舎模型を見ながら大学の概要を  
熱心に聞く見学者たち(12月13日)

▼ 当日人気のあった「巻狩鍋」は特大なべ



▲パンフレットを手に説明される  
須賀校長先生(8月27日)



▲中学生の中からは盛んな拍手がつづく(8月27日)



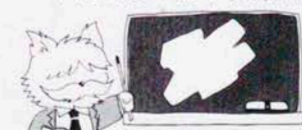
▲ワープロと取り組む中学生たち(8月27日)



▲調理教室ではお菓子づくりの実習(8月27日)



▲新2号館4階の日本間は、茶室も備えた  
本校自慢のもの(8月27日)



レッスン  
3年 大久保景子

随想

社会人入学と外国人留学生

—— 那須大学の新しい試み ——

校長 須賀 淳

あつし



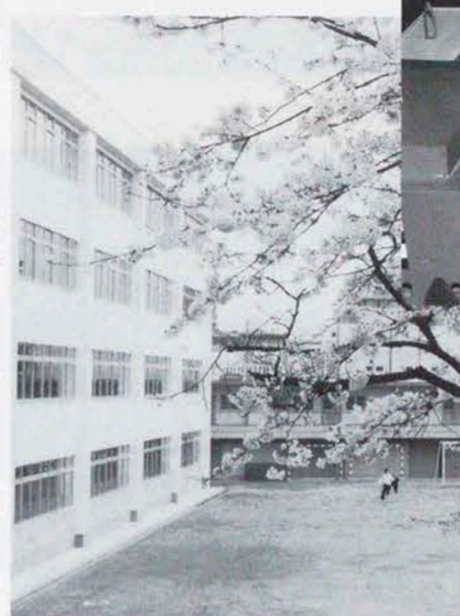
須賀学園の創立百周年記念事業の一つとして、那須の地に設立された那須大学が、いよいよ四月に開学の運びとなりました。

都市経済学部という日本で初めての学部として、関係者の期待と注目を集めてきましたが、昨年暮れから行われた推薦入試、一般入試には、県内外の各地から多数の志願者が受験しました。そのなかから選ばれた優秀な人たちが、いま入学を待っています。

「地域に立脚し、二十一世紀に生きる人材を養成する」ことを目的として、「二十一世紀へ向けての地域の原動力たらん」とするのが那須大学です。このため、多目的、重層的に学ぶ豊富なカリキュラムが生まれ、社会に通用する実践力を養うためのいろいろな特色もっています。とくに那須大学では、若い一般学生のほかに、社会人と外国人留学生に広く門戸を開いていることが



▲学校祭で展示された校舎模型（11月7日）



▶完成した新2号館（4月7日）



▲恒例の調理科生による保護者試食会（11月19日）



◀日頃の努力の成果を発揮する推薦入試（12月8日）



◀サンドイッチマンも登場  
— 学校祭11月8日 —

生徒会  
役員



注目され、社会人特別入試の合格者が大きな話題を呼びました。

“社会に開かれた大学”をめざす那須大学には校門がありません。那須大学は地域の教育、研究開発、文化、芸術、情報、スポーツ、社会活動など、広範囲にわたる知的センターであり、そこに集まるのは学生と教員だけではなく、「学びたい人や知りたい人、考えたい人」ならば、だれでも受け入れたいと考えたからです。それだけに、那須大学の開学を待ち望み、働きながら学びたいと願う社会人は少なくありませんでした。オープンキャンパスの折の大学説明会で、熱心に質問する社会人の方々が多かったことはそのことを明らかに物語っています。

社会人特別入試では、多くの志願者のなかから二十名の方々が見事合格しましたが、合格された方の経歴を見て私は大変驚き、また感激しました。これから四年間、社会人として活躍しながら、一般の若い学生とともに学びの道を進もうとするこれらの合格者のなかには、黒磯市の商工会副会長や大田原市の市議会議員、宇都宮市の著名な会社の社長さんなど四十歳、五十歳の方々が顔を揃えていたのです。

世はまさに生涯教育の時代とはいいながら、これらの方々は社会的地位があり、年齢的にも決して若くはありませんが、十八歳の高校を卒業したばかりの学生たちと机を並べて勉強しようというのですから、その心意気には頭がさがります。私は心から励ましの拍手を送りたいと思います。

教育とは、中学とか高校とか、一時期限りのものではありません。人間の一生にわたって行われ

るものです。そうしたことを、身をもって示してくれたのがこれらの社会人入試に合格した方々です。皆さんはただちに社会に出る人、上級学校に進学を志す人と、進む道は異なっても勉強は続きます。しかし、これからの勉強の基礎となるのは、高校での勉強です。那須大学第一期生となるこれら社会人入学の方々の勉強意欲を、皆さんのこれからの心構えに生かして、勉強に励んでください。

また、那須大学の入試で、もう一つ予想外であったことは、多数の外国人留學生の受験があったことです。アジア各国の経済状況からみて、留學生の受験は少ないのではないかと思っていたところ、定員の三十名をオーバーして四十五名の合格者を決定した状況でした。

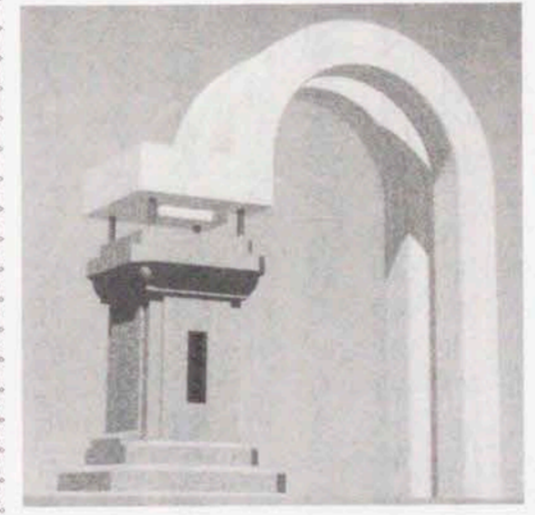
文部省の方針にしたがい、那須大学では留學生の招致に力を入れてきましたが、とくに日本の政治、経済と密接な関係があり、近年都市問題が深刻となっているアジア各国を重視して、韓国、中国、モンゴル、インド等の近隣諸国から積極的に留學生を受け入れることができました。このために外国人留學生のための特別の奨学金制度を設けるとともに、外国人留學生に対し日本語および日本の社会と文化、経済などの基礎的な理解をさせるなど受入れ体制を整えました。さらに外国人留學生の教育研究、大学生活が目的に沿って着実に行えるようにするため、「那須大学国際交流センター」を設置し、外国人の専任教授を所長に充てて、センターには日本および日本語についての学習ができるよう情報機器や図書を備えています。

そして地元の黒磯市の協力をえて、留學生専門の宿泊施設を準備し、さらに地域住民によるホー



## 那須大学特集

那須大学開学記念モニュメント



モニュメントの由来

須賀学園は、明治三十三年（一九〇〇）須賀栄子先生によって宇都宮市に創立された。先生の没後、卒業生により先生の銅像が建立されたが、大戦中の貴金属供出令により、銅像は国に献納され、台座は昭和二十年七月に全校舍とともに戦災に遭い、以来焼けたままの姿で旧校地内に大切に保存されていた。

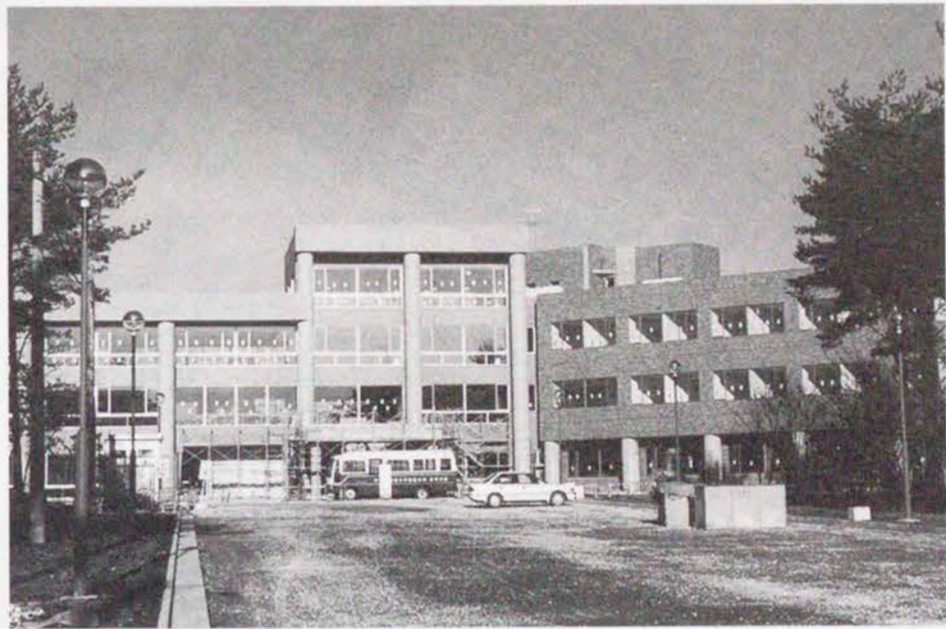
このたび須賀学園創立百周年記念として那須大学が開学されるに当り、この台座に、大学のイニシャルのNの文字を配し、大学本館を形成する二十本の列柱の第二十一番目の柱として、二十一世紀を象徴する記念モニュメントとするものである。

ムステイ制度をつくって、地域ぐるみで留学生を迎え入れることにより、文化活動や社会奉仕への参加を通じて、国際交流の実をあげることとしています。本校生徒の皆さんとも積極的に国際交流を行うことができればよいと思っています。

本年四月の那須大学の開学につづいて、いよいよ平成十二年は本学園の創立百周年です。二十一世紀の幕開けに先がけて、大きな節目を迎えます。本校としても百周年の記念式典をはじめいろいろな行事を予定しています。学園全体の先生方や学生、生徒の皆さん、そして卒業生の方々の積極的な協力をお願いして、意義のある創立百周年を祝いたいと考えています。



# 二十一世紀をひらく 那須大学開学迫る



校門のない社会に開かれた大学 (平成10年12月現在)

いよいよ四月に那須大学(須賀 淳学長)が開学します。昨年十二月二十二日に文部省の正式認可があり、わが国初の都市経済学部が誕生します。教授陣容も整い、校舎や施設設備も完成して、今は新学期のスタートを待つばかりです。

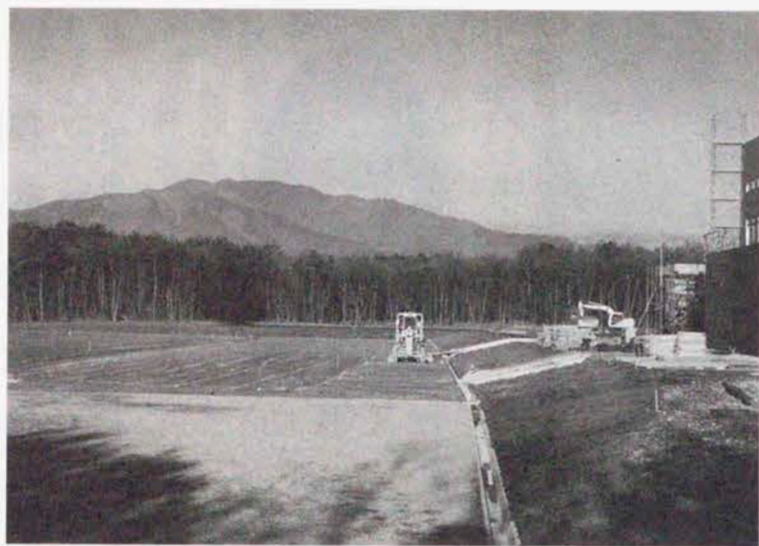
## 社会にひらかれた大学

四年制の那須大学は、都市経済学部(定員二百名)として開学します。那須大学は須賀学園の創立百周年記念事業として開学するもので、同学園の建学の精神である「全人教育」に基づいて、最近の社会システムの実践的な知識と外国語能力、情報処理能力を兼ね備え、情報社会に対応できる創造性のある人材を育成するのがねらいです。



大学の周辺はまだまだすばらしい自然が残っている

分析にとどまらず、社会福祉、交通、住宅、公害防止、環境保全など、都市現象のすべてにわたる学問を究める特色ある学部です。特に地方に生まれ、育ち、故郷の地方に根をおろして活躍しようとする人材養成のための大学です。



グラウンドからは煙りたなびく那須連山が眺められる(平成10年12月現在)

## 教育環境と教育内容

大学所在地の黒磯市鹿野崎は、首都機能移転の最有力候補地であり、東北新幹線「那須塩原駅」から車で六分、東北自動車道「那須塩原インター」からわずか十五分と交通はたいへん便利です。

緑豊かな二十ヘクタール(約六万坪)のキャンパスには、メインとなる研究・管理棟(四階建)をはじめ、講義・厚生棟には食堂、購読、医務室があります。図書館・情報棟(三階建)は教育研究の中核となる所で、コンピュータ実践室や情報メディアコーナー(二階)、図書館(二、三階)、さらに体育館(二階建)、クラブ棟など延べ建築面積一万三千七平方メートル。また校舎の西側にはサッカー場やテニスコートがあり、そこからは、はるかに噴煙たなびく那須の連峰が眺められます。さらに東側には広い駐車場も完備しています。

大学周辺には、四季折々の変化が楽しめる豊かな自然がいつぱいで、思索に散策に絶好の場所でもあります。

教授陣はベテランぞろいですが、大学の教壇に立っていた人だけではなく、民間企業やシンクタンク、企業経営者、研究者ら那須大学の画期的な取り組みに賛同する、第一線で活躍する人々多数が講義を担当するの、社会に開かれた大学ならではの大きな特色になっています。本校を会場として行われた推薦入試、一般入試、社会人特別入試、外国人特別入試には、定員を上回る多数の志願者が受験しました。

## オープンキャンパスに二二〇〇人

那須大学を受験しようとする人たちに、大学の施設を見せたい、大学の概要を説明し、また入学相談を受けるため「オープンキャンパス」が十二月十三日現地で行われ、千三百人の人々が訪れました。須賀学長先生や村瀬那須大学開設準備委員長から、二回に分けて大学についての説明があり、入試相談室では、社会人の志願者が熱心に質問している姿が見られました。

# 学園告知板

## 大島教頭先生に文部大臣表彰

多数参加し盛大に祝賀会開く



大島教頭先生(右)の祝賀会で  
お祝いのごはをのべる須賀校長先生

須賀学園のために、長い間尽力されてきた大島威二教頭先生が、教育関係者の文部大臣表彰を受けました。

その祝賀会が十二月十九日に宇都宮のロイヤルホテルで本校の職員多数が出席して盛大に開かれました。須賀校長先生からお祝いの言葉があり、万里子副校長先生、太田茂雄教頭先生、山形恵子先生からそれぞれお祝いの品と花束が贈られました。

つづいて、大島教頭先生がお礼の言葉と、表彰式の様子や皇居参観の印象を述べられました。

そのあと、太田教頭先生の音頭で乾杯があり、二時間余にわたる和やかで楽しい祝宴に入りました。

この教育関係者の表彰は、昭和三十

五年から実施され、小中高校の教育者を対象にしています。当時文部省にお勤めだった須賀校長先生がその制度の制定にたずさわられたという、本校にとっては、まことに因縁深いものがあり、本校関係では、齋藤太嘉男前教頭先生と太田教頭先生に続いて大島教頭先生は三人目の受表彰者です。

表彰式は、十一月二十日午後十二時三十分から東京の国立劇場に全国の受表彰者百六十三名が集って行われました。有馬文部大臣から表彰状と記念品の銀盃を贈られた一同は、皇居の「春秋の間」で天皇皇后両陛下からお言葉をいただき、そのあと記念撮影と皇居参観がありました。

大島教頭先生は、東北大学を卒業された昭和三十五年、直ちに本校に奉職され、本校教育の振興発展に寄与してまいりました。

「積善の家に余慶有り」といわれますが、わたしにとっては、この家があるまま職場の本校であり、その恩恵によつて、このたびの榮譽をいただいたものと思っています。」と大島教頭先生はその喜びと感謝の

言葉を述べておられました。

## 各種コンテスト入賞者のお知らせ

- ◇県高校国際教育研究協議会・県高校文化連盟主催「第三十五回栃木県高等学校国際理解弁論大会」(九月二十五日) 優秀賞 二年十四組 丹羽悦子
- ◇県牛乳普及協会主催「牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会」(九月二十二日) 最優秀賞(全国大会出場) 二年二十四組 佐藤めぐみ、同優良賞 三年二十五組 小関寛美、三年二十六組 斉藤ひとみ、一年二十四組 伊藤愛子、一年二十五組 久保田孝信
- ◇全国牛乳普及協会主催「牛乳・乳製品利用料理コンクール県大会」(十一月十五日) 優良賞 二年二十四組 佐藤めぐみ
- ◇日本テレビ・読売テレビ・報知新聞社主催「高校クッキング選手権栃木大会」(十月十八日) 出場者 一年二十四組 田中裕樹、大場和宏
- ◇県特用林産協会主催「きのこ・山菜料理コンクール」(十月三十日) 優秀賞 三年二十六組 鈴木寿枝、優良賞

三年二十六組 小西千晴、奨励賞 二年二十四組 下地加奈子

◇全国食肉事業協同組合連合会主催「ファミリィ・ミート、クッキングコンテスト」(十一月十一日) 審査委員特別賞 二年二十四組 小藤智也

◇県食肉事業協同組合主催「食肉料理コンクール」(十月二十三日) 最優秀賞(全国大会へ出場) 二年二十四組 小藤智也

◇農林水産省宇都宮食糧事務所主催「ヤング・ライス・クッキングコンテスト県大会」(十二月十二日) 下野新聞社賞 三年二十五組 渡瀬邦博

## 阿部正昭会長を選出

平成十年度PTA総会開く

平成十年度PTA総会は五月十六日、須賀栄子記念講堂で四百名が出席して開かれ、次の会長以下新役員を選出しました。

また、人気満了に伴う退任の中村恒郎副会長、青木隆司、平出正光両会計、高橋進、古家茂、藤平法男会計監査ら前役員に感謝状並びに記念品が贈られ

ました。

〔新役員〕 敬称略

- 会長 阿部正昭(音楽科後援会長)
- 留任▽副会長 青木直樹(普通科後援会長)、塩沢邦美、菅沼成雄、齋藤幸雄
- 〓いずれも留任、岩尾裕文(前中学校PTA会長)▽会計 吉田光男(情報商業科後援会長)、野口利男(調理科後援会長)▽会計監査 鈴木裕司(生活教育科後援会長)、大森祥郎(音楽科後援会長)、音羽和紀(調理科後援会長)▽相談役 松岡祐祥、篠崎キミエ、田村昭夫〓いずれも留任▽常任委員 石丸隆義 以上三十四名。

### 生徒会が敬老の贈物

昨年敬老の日の生徒会からの贈物は、お年寄りには欠かすことのできない保険証のケースでした。対象となったのは、千二百二十名（男四百七十八名、女七百四十二名）で、最長寿者は三年三組、大貫綾子さんの曾祖父、義尉さんの百三歳です。おめでとうございませう。

お礼状がたくさん参りましたが、その中の二つをご紹介します。

### 礼状

拝復

敬老の日の贈物、ありがたく拝覧いたしましたし、心から嬉しく感激して頂戴、大喜びです。

思いがけなく楽しい品を頂いた時の心の躍りは、老いたる者感慨ひとしおなのです。

保険証入れ、丁寧に永く使わせて頂

きます。

私は八十歳となりました。

ロシア革命の翌年一九一八年生まれ、世界中吹き荒れた大経済恐慌の中で両親の苦勞の中で育てられました。

大正デモクラシー時代、文明の恵みを受け、教育され成長しました。

昭和に入り、満州事変、支那事変（日中戦争）へ、太平洋戦争と十五年戦争をもろにかかりました。宇都宮市内の大通りの沿道で、出征兵士を涙で幾度か見送り、そして戦後、瓦礫の中の懸命な働き、国民誰もが苦しさに耐え、復興に努力しました。今日の平和と繁栄、物資の豊富さ、その豊かな中に身を置いて幸せです。

最近、割り切れぬものを感じる数々、多方面の事件を知ります。

私共老いしものには、いかんともし難いものです。

只々皆さん方の活気ある若い人たちに期待するほかにありません。日本の良き社会を切望します。

頑張ってください。重ねて厚く御礼申し上げます。

尚、学校当局の方々の暖かい御支援

に深く御礼申し上げます。

平成十年九月十五日

一年二十六組 飯田 圭紀

祖母 飯田 マス

宇都宮短期大学附属高等学校

生徒会御一同様

かしこ

拝啓

このたびは、「敬老の日」のプレゼントを下さって本当にありがとうございました。爺ちゃん、婆ちゃんに生徒会から、これプレゼントと、部屋に入ってきた孫娘に品物を渡された時は、正直なところ突然でもあり、何のことなのだろうと、いぶかる思いがしました。皆さんからの「敬老の日」のプレゼントだと分かって想わずにっこりと笑って喜び合いました。私たち二人はともに七十四歳で、けっこう病院にまいります。すぐに役立つ実用品です。

またまた、一昨年の十三日（日曜日）に、私たち二人は用があり、大阪市まで行って参りましたが、出がけにその孫娘に大阪へ行くんじゃおみやげ買ってきてと、具体的に品物を頼まれました。

### 礼状

入試説明会にて

ステンドグラスのトレイをありがとうございました。大変気に入っています。楽しそうなかにも真剣な活動を送っていただけることと思います。

ありがとうございます。

黒羽町立両郷中学校

尾畑 宏先生より

生活教養科三年

金田光代さんへ

### 福祉施設にエプロン

生活教養科で創立者命日に

昨年本校創立者須賀栄子先生のご命日である十月十四日に、生活教養科では手作りのエプロンを下野新聞社を通じて社会福祉施設に贈り、大変喜ばれました。次はそのお礼状の一部です。

謹啓

時下ますますご清栄のことと存じます。さて、この度社会福祉推進のために

た。忙しい日帰りの往復でしたが、そのみやげは何よりも優先して買ってまいりました。孫娘はにっこり笑ってありがとうと言いました。

大阪市では、新幹線を降りてから電車の乗り換えが二度あります。今まで十五回ほど行きましたが、どんなに車内が混んでいても必ず気軽に席を譲ってくれますし、道に迷って立ちすくんでいると、何かお困りですかと声をかけてくれます。あの震災で全国から集まった任意のボランティアの支援の中から立ち上がった関西人の人たちは確かに心の通うものを感じさせます。

日帰りで大坂まで往復できる新幹線という交通期間も確かに素晴らしいものですが、それ以上のものを感じさせられませんでした。

今日は「敬老の日」十五日で、六十五歳以上の人口が初めて二千万人を越えたと報道されておりますが、また合わせて若い人たちに気兼ねしたり、あるいは周囲の人たちと心のふれ合いもなく、孤独で生活する多くの高齢者のことも報道されております。

いくらか介護保険などの制度が充実し

ていっても、また高齢者向けの施設が次々と建ち並んでも、高齢者自身は寂しい思いで日々を送っているとしたら、まったく意味のないことではないでしょうか。二千万を越える高齢者が笑顔で送れるようになってこそ本当の福祉社会であると思います。豊かな心のふれ合いがあつてこそです。

二千万を越える高齢者がいるんだという気持ち、そして共に生活していくんだという皆さんの気持ちを伝えてくれるプレゼントです。

本当にありがとうございます。

初めてこのような感謝の手紙を書く喜びをしみじみと噛みしめながら……

平成十年九月十五日

坂本 啓

綾子 (小山市)

宇都宮短期大学附属高等学校

生徒会御一同様

格別なご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰様で、皆様方のあたたかいご理解をいただき、本市の社会福祉も年々充実しつつありますことに、あらためて感謝申し上げます。

下野新聞社を通し、ご寄贈いただきました「エプロン」につきましては、市立保育園に配付し、大変喜んでいただいたところでございます。

今後とも、本市社会福祉の充実のために一層の御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

本来ならば、拝眉のうえお礼を申し上げるべきところではございますが、略儀ながら書状をもってお礼申し上げます。

平成十年十月十六日

敬具

宇都宮市長 増山道保  
宇都宮短期大学附属高等学校様

木の葉の美しく色づく頃となりました。皆様、元気に勉学に励まれておいでのこととお慶び申し上げます。先日は、その成果の一つ、エプロン

を寄贈いただきまして、ありがとうございます。手作りの優しさや暖かさが伝わって参ります。有効に使わせて戴きます。

何でも既製品の時代、手作りの心と努力をこれからも残して下さい。本当にありがとうございます。

しらゆり幼児園園長  
森島 允子

一年十六組

小野有実様

### にぎやかに卒業生を送る会

昨年の卒業生を送る会は、二月二十六日総合体育館メインアリーナで行われましたが、アトラクションは、ぐっとくだけた、外国人のバンド「ザ・ヒットメン」によるポピュラー・ポップスコンサートとなりました。

コンサートに先だって、在校生から卒業生に花束、記念品の贈呈、つづいて卒業生からは須賀校長先生、万里子副校長先生はじめお世話になった先生方に花束、記念品が贈られました。

リム先生は「まるでホテルのような素晴らしい学校です。こんな学校で学ぶことのできる生徒さんは幸せですね。よいおみやげ話ができました。私の生徒はきつと、うらやましがらうでしょう」と話していました。

### 初の中国料理研修へ

前々から計画が進められていました調理科の第一回中国海外研修が、三月二十八日から四月二日まで行われました。

期間中は杭州の浙江商業学校での調理研修や西湖の近くのレストラン見学、さらに上海での博物館見学などで、三上先生が引率にあたりました。詳しくは招待席欄の三上先生のレポートをご覧ください。

### 比島からのお客さま

フィリピン・インターアクトクラブ顧問アリス・L・リム先生ら女教師三名が、鹿沼ロータリークラブの小林敏郎青少年奉仕地区委員長らの案内で四月二十日、本校の見学に訪れました。須賀校長先生から職員室で本校の先生方に紹介された後、本校の授業や施設を見学なさいましたが、ワンダフルの連発。

ながら、バンド活動を行っています。九〇年代のヒットソングから五〇年代のグレイテストヒットまで、幅広く約百曲のレパートリーがあります。人気グループ「TOKIO」のバックバンドやテレビで活躍しており、特にメンバーの一人、ヴォーカルのブラットホームスはCMでも人気を集めています。

この日の演奏は、ヒット・メンのオリジナル曲CAVEMANなど十八曲。聴衆の皆さんも、大いに盛り上がっていました。



▲盛り上がったコンサート

この日出演の「ザ・ヒットメン」は、五名の外国人で構成され、それぞれ日本で音楽教師や英会話教師の仕事につき

## 校 史 と 校 章

いよいよ来年は20世紀最後の年となり、そしてまた本校の創立100周年を迎えます。さらにその記念事業として準備が進められてきた那須大学も今年4月に開学します。

本校は明治33年に須賀栄子先生によって創立されました。須賀栄子先生は、女子に最も適切な技芸を教授し、その時代と境遇とに順応すべき実践的婦人の養成を教育の趣旨とし、共和裁縫教習所から、共和裁縫女学校、宇都宮須賀女学校、宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、発展させてゆかれました。その後を須賀友正先生が受け継がれ、学制改革により、宇都宮須賀高等学校となり、さらに、宇都宮短期大学を設置し、高校も宇都宮短期大学附属高校と改名されました。友正先生の後を受け継がれたのが、現校長先生でいらっしゃる須賀 淳先生です。先生は宇都宮短期大学附属中学校を設置し、ますます学校を発展させて、現在に至っております。

我が校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、生徒一人一人が、それぞれに、本校生徒としての価値を知り、その価値を自覚することこそ、人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩であるというものです。学校はそのあり方を勉強する場であるというのが、須賀栄子先生のお考えでした。私たちは現在、この言葉を胸に、本校生徒としての価値を認識し、生活しています。

本校には、現在に至るまで、いくつかの校章がありましたが、現在使われている校章の由来は、創立者須賀家の祖先が武士の旗印として使っていた、「ス」の文字を3つ組み合わせたものです。

「ひめまつ」第五十三号（非売品）  
平成十一年三月一日印刷発行

宇都宮市陸町一三十五号

宇都宮短期大学附属高等学校

編集人 顧 問 和久 誠

発行人 生徒会長 丹羽悦子

印刷所 宇都宮市鶴田町一三五九の一

ヤマゼン印刷株式会社

〇二八(六四八)一一一

印刷人 山 本 征 一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

〒320 8585

TEL〇二八(六三四)四一六一、三番